

平成 30 年 6 月 1 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の5月の気候統計値

暖かい空気に覆われて、気温は高く、奄美地方ではかなり高かった。
 奄美地方では、平年に比べ高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は多く、降水量は少なかった。

上旬：九州南部では、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。2日と7日から8日にかけては前線が通過し大雨となった所がありました。奄美地方では、期間の中頃は高気圧に覆われて概ね晴れましたが、はじめと終わりは前線や湿った空気の影響で曇りや雨となりました。なお、奄美地方は7日ごろに梅雨入りしたと見られます。

中旬：九州南部では、期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、18日から19日にかけては、大雨となった所がありました。奄美地方では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、20日は大雨となった所がありました。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。九州南部では21日から22日にかけてと、26日は低気圧や前線の影響で大雨や荒れた天気となった所がありました。なお、九州南部は26日ごろに梅雨入りしたと見られます。

平均気温：延岡で「平年並」となったほかは「高い」となり、鹿児島、枕崎、名瀬、沖永良部では「かなり高い」となりました。

降水量：九州南部では「平年並」か「多い」となり、宮崎、都城、鹿児島、阿久根では「かなり多い」となりました。奄美地方では、「少ない」となりました。

日照時間：沖永良部で「多い」となったほかは、「平年並」となりました。

2018年5月の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)		
宮崎県	宮崎	20.5	(+0.6)	+	408.5	(171)	+*	15	168.9	(97)
	延岡	19.5	(+0.4)		324.5	(134)	+	14	179.1	(100)
	都城	20.1	(+0.7)	+	330.5	(151)	+*	12	160.3	(97)
	油津	20.6	(+0.3)	+	268.0	(105)		13	149.3	(91)
鹿児島県	鹿児島	21.7	(+0.9)	+*	342.5	(155)	+*	11	160.8	(92)
	阿久根	20.1	(+0.9)	+	327.5	(170)	+*	12	174.8	(96)
	枕崎	20.9	(+1.0)	+*	311.0	(149)	+	13	160.5	(92)
	屋久島	21.5	(+0.7)	+	524.5	(119)	+	14	137.4	(91)
	種子島	21.6	(+0.7)	+	307.5	(133)	+	12	163.8	(107)
	名瀬	23.9	(+1.2)	+*	189.0	(73)	-	13	129.4	(102)
	沖永良部	24.4	(+1.4)	+*	109.0	(60)	-	6	198.9	(126) +

(注意) ・「階級」の欄の符号は、+ : 高い(多い) : 平年並 - : 低い(少ない) ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+・-」に*を付加した。この場合には +* : かなり高い(多い) -* : かなり低い(少ない)と表現できる。
 ・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2018年5月の順位更新表(順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)

・月平均気温の高い方から

順位	地点名	値()	平年値()	平年差()	これまでの1位() (西暦年)	統計開始年
2	沖永良部	24.4	23.0	+1.4	25.2 (1998年)	1969年

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当 電話 099-250-9912 FAX 099-255-4234